

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家むなかた館		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各職種の連携が出来ている。	各職種からの目線で児童一人一人に対しての目標・課題に向き合い意見交換を行い支援に取り入れている。	研修やスキルアップを目指して、現在の支援に満足せず、努力を続けていく。
2	保護者からの信頼が厚い。	将来の不安・家庭状況・困り事等を相談できる環境を作っている。	対応できる範囲は限られるが、対応できる事に対してのレスポンスをもっと早くしていきたい。
3	自己選択を尊重し自由に過ごせる。	児童が自分で選択できる環境を作り、その目標に向けて行動できる環境設定をしている。 たくさんの経験を自然とできるような、活動や遊びをとりいれている。	新しい玩具や色々な刺激を受けれる様な物を導入していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりが少ない。	地域交流の機会を作っているが、取り組みとして少ないため企画を増やしていく。	情報収集をもっと行い、参加できそうな事に積極的に参加していく。
2	支援の見える化が難しい。	SNS等を使用して以前より、見える化ができていると思うが、SNS等を見て頂かないと難しいというのが現状。	学校のような参加日みたいな、環境を作ればと考える。
3	事業所で行っている事がつたわっていないケースがある。	避難訓練・個人情報管理等をどのように行っているか伝わるのが難しいケースがある。	契約時のみでは、定期的の手紙やSNS等でお知らせしていく。